

千年の都を育む山と緑

認定理由

平安京遷都の詔に“山川も麗しく”とあるように、千年の都の生命力の源は、京都盆地の三方を囲む「京都三山」(東山、北山、西山)である。これら里山は名水を湧出し、建材や燃料などの資源を供給しながら、自然と共生する文化を育んできた。信仰の対象や葬送地となつた山々は、多様な宗教文化を生み出してきた。皇族などの隠棲地としても知られる山村は、雅な趣を伝えている。市街地から望む三山の姿は、庭園の借景など京都らしい景観を彩り、街中にある緑とともに、悠久の歴史を刻みながら、日常の暮らしに溶け込み、人々の心に安らぎを与えていた。

主な構成遺産

京都盆地の三方を囲む山々



松尾山

松尾大社本殿の背後にあつる松尾山には、山頂近くに「磐座」(神が降臨するという岩)があり、この地に住む人々が山の神として崇め、信仰してきた。



愛宕山

山頂の愛宕神社は平安京北西鎮護の神として祀られていた。古くから修験道の道場となり、修験者によって愛宕信仰が広まつた。



鞍馬山

貴船山とともに「水源の森百選」。鞍馬寺は、平安京北方鎮護の寺として、貴船神社は、水の神として信仰を集める。鞍馬は薪炭の集積地としても栄えた。



比叡山

東山三十六峰北端の山。平安京の鬼門(北東)にあって都を鎮護する靈山として崇敬を集める。庭園の借景となるなど市街地からの景観の重要な要素



大悲山

大悲山は本山修験宗峰定寺の境内で山全体が山岳信仰の地。スギなど木材の産地として知られ、花背の三本杉は、高さが日本一とされる。京都の自然200選



小倉山

小倉山等のなだらかな山並みが、鳥居本などの集落や田園風景と一体になって野の風景を形成。山麓は、平安貴族の隠棲地であり、葬送の地「化野」もあつた。



小塩山

中腹にある金蔵寺は、平安時代、都の平安を祈念した西の岩倉とされ、古くから自然が保持されてきた。麓に広がる大原野は筍の産地として有名。京都の自然200選



大文字山

東山三十六峰の如意ヶ岳の西峰。京都五山送り火の一つとして知られ、京都のランドマークの一つ。山麓には慈照寺、法然院、永觀堂等がある。



稻荷山

伏見稻荷大社の東にある東山三十六峰南端の山。一ノ峰、二ノ峰、三ノ峰が連なる三ヶ峰は、古くから神の降臨地とされ、巡拝する全国からの参詣者で賑う。



醍醐山

醍醐山を中心とする山並みは、山麓の三宝院、醍醐寺等と一体となり自然風景を形成。山頂には、醍醐寺開祖の理源大師ゆかりの薬師堂(国宝)などがある。京都の自然200選

京都の歴史を物語る山と緑



糺の森

下鴨神社の境内にあり、古くから神聖な場所とされる。賀茂川と高野川の合流点に発達し、広葉樹などの古代の植生を留めている。国史跡。京都の自然200選



双ヶ丘

一の丘・二の丘・三の丘と並び、山腹には古墳群。一帯は天皇の遊猟地で、山麓には貴族の山荘が営まれた。西麓に妙心寺、法金剛院、北麓に仁和寺が建つ。国名勝。京都の自然200選



船岡山

平安京造営の際の四神相応の玄武の地と伝わる。平安貴族の遊楽の地で、西麓は葬送の地「蓮台野」であった。応仁の乱の西軍の拠点。中腹には建勅神社。国史跡。京都の自然200選



吉田山

一帯は天皇の遊猟地で、陵墓も設けられた。吉田神社の境内で、神座の岡から「神楽岡」の名で親しまれる。中世には度々戦場となつた。



嵐山

春は桜、秋は紅葉の名所として有名。我が国を代表する景勝地。平安遷都以降、貴族の別荘地となつた。山腹には岩田山自然遊園地や虚空蔵法輪寺がある。国史跡名勝

雅な趣きを伝える京都の里山



京北

平安遷都以来、山国地域を中心とした桂川流域が禁裏御料地とされ、御所造営の木材供給地であったことなど、古くから都とのつながりが深かつた。武地谷水源の森は「水源の森百選」



岩陰

檍原と越畠の2地区からなる岩陰には、日本の原風景が広がる。「にほんの里100選」。西の清浄幽すい境とされた水尾は、後に水尾天皇とも呼ばれた清和天皇ゆかりの地として知られる。



中川

中川をはじめ北山林業の地域は、古くから朝廷や寺院の所領として、磨丸太や薪炭などを納めていた。小野郷には、源氏物語ゆかりの岩戸落葉神社がある。



雲ヶ畑

古来から林業が盛んで、平安京造営の用材を出したと伝わる。洞窟の湧水が鴨川の水源地でもある志明院は、皇室の篤い崇敬を受けた。



大原

炭や薪、柴の産地で知られ、都に売り歩く大原女も古くからみられた。貴人の隠棲地としても有名。八瀬には、天武天皇が矢傷を治したという伝承が残る。